

第1学年A組 道徳学習指導案

平成30年10月26日

指導者 木上 香織

1 主題名 郷土を大切に作る心

2 ねらい 進んで郷土の発展に努めることができる態度を育てる。

3 主題設定の理由

- 本主題は内容項目C-16「郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に畏敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること」を受けて設定されている。

中学生の段階では、自我の確立を強く意識するあまり、ともすれば、自分自身の力だけで存在していると考えがちである。このような傾向を考えると、自分だけで存在しているのではなく、家庭や地域社会に尽くした先人や高齢者などの先達によって自分が支えられて生きていることを自覚し、それらの人々への尊敬と感謝の気持ちを深めることは極めて大切なことである。郷土や地域を愛し、積極的・主体的に関わり、郷土のために自分ができることは何かを考え、郷土の発展のために自分が寄与しようという意識を高めることが大切であると考えます。

- 本学級の生徒10名は、明るく素直な生徒が多く、地域の行事についても積極的に参加している。また、地域の方々に元気よく挨拶することができ、地域に愛されて育ってきた生徒がほとんどである。さらに、今回で8回目を迎えた「永久津夏祭り」の準備・片付けのボランティア活動にも参加するなど、地域のために活動ができる。しかし、活動に参加している一方で、「学校で参加するように言われているから」とか、「仕方なく参加している」と考えている生徒もおり、さらには「将来は永久津から出たい」と考えている生徒も多く存在しているのも現状である。

- そこで、指導に当たっては、地域の人々との人間関係を問い直したり、地域社会の実態を把握させたりして、郷土に対して認識を深め、郷土を愛しその発展に努めるよう指導していく。まず、導入段階では、小林市で行われている様々な行事についての実態を把握させ、それぞれの行事の意義について考えることで、本時のねらいへの方向付けを行う。展開前段で、永久津夏祭りの写真や画像を見て、「第8回を迎えた永久津夏祭りの目的や、運営されている方々の思い」を考えさせることで、自分たちの地域に対する考えを深めさせたい。また、地域の行事への参加体験等に基づいて、その思いを話し合い活動を通して考えさせることにより郷土に対する認識を深め、先人たちに対する感謝の気持ちを育むよう指導していく。また、「心のものさし」を使って生徒自身がどのような思いをもって行事に参加してきたかを明らかにさせ、そして、展開後段では、実際に運営に携わった方々からのメッセージを聞かせ、前段で考えたことを確かなものにしていくことで、郷土の伝統文化を尊重し郷土を愛する思いを育みたい。また、「自分たちが永久津地区に対してできることはどのようなことか」という問いかけにより、今の自分やこれからの自分たちについて考えを広げることで、道徳的価値の内面的な自覚と道徳的実践への意欲を高めさせていきたい。終末段階では、導入段階同様に「心のものさし」を使って考えがどのように変化したかを確認し、最後に地域の方々からの「永久津中学校へのメッセージ」を読み、余韻をもって終わらせたい。

4 発問の組み立て

本時の学習の中での発問は次のように構成した。まずは小林市で行われている行事の目的や意義は何かを把握させる。そして、永久津地区で開催されている夏祭りはどのような目的で始まったのかを気付かせる(分析的な発問)。また、夏祭りを運営させている方々の思いも知り、感謝の気持ちをもたせる(共感的な発問)。さらに自分たちができることを考えさせ、永久津に貢献できるような気持ちをもたせる(投影的な発問)。このように、多面的な発問構成にすることによって、生徒たちが自分たちの郷土について、じっくり考えることができる学習展開が期待できると考える。

5 学習指導過程

	学習内容及び活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
導入 5分	1 現在小林市で行われている行事について考える。	○ 現在小林市が行っている行事はどのようなものがありますか。 ・ こばやし大運動会 ・ 名水まつり ・ 秋まつり	○ 小林市の行事について、参加して経験をもとに思い出させる。
	2 それぞれの行事の意義について考える。	○ 「このような行事は何のために行っているのだろう。」 ・ 小林市の活性化 ・ 体力向上や健康づくり	○ 生徒の意見を引き出すために話し合い活動を行わせる。
	3 今日の心を知る。	今日の心 ふるさどって何だろう。	
展開前段 20分	4 「永久津夏祭り」の写真や画像を見る。 (1) 心のもので自分の思いを表わす。	○ あなたはこれまでどんな思いで行事に参加していましたか。	○ 夏祭りの写真と準備後片付けの写真を見せる。また運営に参加されている地域の方々も見せることで分析しやすいように配慮する ○ 「赤は積極的」、「青が消極的」にすることを示す。 ○ 理由も発表させる。
	(2) 夏祭りを始めた目的や運営された方々の思いを考える。	○ 「今回で第8回を迎えた永久津夏祭りはどのような目的で、どのような思いで活動されているのだろうか。」 ・ 地域の活性化 ・ 永久津を盛り上げるため ・ 子どもたちのため ・ 永久津の伝統にしたい。 ・ 地域の方々に喜んでほしい。	○ 運営されている方々の思いについて共感的に理解させる。
展開後段 15分	5 運営されている方々からのメッセージを聞く。 ・ 夏祭りを始める思い ・ 苦労したこと	○ 「メッセージを聞き、どのような気持ちになりましたか。」	○ 自分たちの思いと実際の思いを比べ、考えを深めるとともに感謝の気持ちをもてるようにする。
	6 自分たちが永久津地区にできることを考える。	◎ 「自分たちが永久津地区に対してできることはどのようなことがあるだろうか。」 ・ 行事に積極的に参加する。 ・ ボランティア活動をする ・ 夏祭りを受け継いでいく。 ・ 将来は永久津に戻って仕事をし、永久津の伝統を守る。	○ ワークシートを用いて自分の思いをじっくり考えさせる。 ○ 個人で考えさせ、グループで話し合わせ、できるだけ多くの意見を引き出させる。
終末 10分	7 「心のもので」で自分の思いを表わす。	○ 今日の授業をもとに、今後の行事にどのように参加したいと思いますか。	○ 郷土を愛する心を「心のもので」を使って明らかにし、本時のねらいへ到達度を把握する。
	8 永久津中学校生徒へのメッセージを聞く	○ メッセージを聞いて、自分はどのように感じましたか。	○ 地域の方々から生徒に向けてのメッセージを代読する。
	9 本時の感想を書く。	○ 授業を振り返り、改めて「ふるさととは」を何かを書いてみましょう。	○ これからの永久津への思いを書かせる。

6 板書計画



7 他の教育活動との関連

- こすもす科 3年生「小林未来予想図」

8 評価

- 郷土や地域を愛し、積極的・主体的に関わり、郷土の発展のために自分にできることは何かを考えることができたか。

郷土を大切にする心

名前 _____

今日の心

1 永久津夏祭りはどのような目的で、また運営されている方々の思いは。

2 あなたはこれまでどんな思いで行事に参加していましたか。

3 自分たちが永久津地区にできることを考えてみよう。

- 今日の授業を終えて ◎ ○ △ □
- ①今日の心に対して、自分の考えをもつことができましたか。
 - ②今まで思ったことがちがうものになりましたか。
 - ③今後に生かしていこうと思えましたか。